

① 以下の文章を読みながら「な・に・ぬ・ね・の」に○（まる）をつけてください。

だれもがにんちしょうになりえる／じぶんごととしてかんがえるじ
だいへ

「あたらしいにんちしょうかん」にたつ：

ここでしめされた「あたらしいにんちしょうかん」とは、にんち
しょうになったらなにもできなくなるのではなく、にんちしょうに
なってからも、ひとりひとりがこじんとしてできること・やりたい
ことがあり、すみなれたちいきでなかまなどつながりながら、き
ぼうをもってじぶんらしくくらしつづけることができるというかん
がえかたである。

にんちしょうのひとをふくめたこくみんひとりひとりが「あた
らしいにんちしょうかん」にたち、にんちしょうのひとがみずからの
いしによって、たよなしゆたいとともに、にちじょうせいかつお
よびしゃかいせいかつをいとなむことができるきょうせいしゃかい
をつくりあげていくひつようがある。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

な	に	ぬ	ね	の
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ 何について書かれた文章でしたか？口頭で教えてください。

【文章】仮名拾い（かなひろい）課題プリント その0 - な行編

答え ② な：14 に：17 ぬ：0 ね：0 の：4

③ 新しい認知症観について書かれた文章。など

文章の出典：

内閣官房

2024年「認知症施策推進基本計画（案）」

2024年9月時点

を平仮名に加工して作成

© リハプリント